

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

令和元年11月定例会の内容をお届けします。

2020
No. 72

令和2年2月14日発行



特集

しまだ紙芝居
倶楽部
&
市議会

特集

しまだ紙芝居 倶楽部 & 市議会

参加型紙芝居を通してボランティア活動を
されているしまだ紙芝居倶楽部の皆さんに
お話を伺いました。



「うふっふ！」 「あはっは！」 みんなの笑顔

共に楽しむひととき

しまだ紙芝居倶楽部は、なかたにみのる中谷稔代表が「紙芝居をやりたい、紙芝居を楽しみたい」という思いで、1人で活動を始めました。その活動に賛同したボランティアつなごりの仲間の思いが一つになり、平成26年4月1日に結成されました。倶楽部の名称は、常に柔軟な感性を持ち続けたいという願いを込め、柔らかさが伝わるよう「しまだ」を平仮名にしました。また「倶楽部」

としたのは、熟年の大人が楽しむことを力ツコよくオシャレに表現したいと考え、命名しました。

《どのような活動をしていますか》

・現在、部員は9人で月5〜6回程度デイサービスや「居場所」などで、紙芝居を披露するなどの活動をしています。

《活動のやりがいは何ですか》

・大津地区にある垂穂寮たけほりやう(障害者支援施設)で歌を取り入れたところ、大きな声で参加してくれたことに、我々の方が感激しました。
・ボランティア活動をいろいろ行っていますが、まずは自分が楽しむことで、その結果として皆さんにも喜んでいただけることがうれしいです。



「しまだ紙芝居倶楽部」通信
夢道楽
 2014.4.1 発行
 第1号

縁あって、私たち4人は2014（平成26年）4.1に「しまだ紙芝居倶楽部」を結成することにしました。
 2月下旬の勉強会を兼ねた見学（いきいき「いなり」をきっかけに、3月10日に島田市立東の打ち合わせをお借りし、4人が初めて顔を突き合わせるそれぞれの思いを出し合いました。
 その結果、とにかく「紙芝居をやりたい、紙芝居を楽しみたい」という思いがひとつになり「しまだ紙芝居倶楽部」が誕生しました。
 このご縁を未だ大切に、いくつになってもそれぞれが「紙芝居を楽しむ」気持ちを持ち続けようで行きたいと思っています。よろしくお願ひします。

◆通信名と通信名について◆
 ＊「しまだ紙芝居倶楽部」
 題名で「紙芝居」にしたのは、熟年の大人が楽しむことをカッコよくオシャレに表現したいと考え決めました。「しまだ」にしたのは、常に柔軟な感性を持ち続けたいという願いを込め、まさかさが伝わるひらがなになりました。
 ＊「夢道楽」
 歳を重ねいくつになっても「やりたいこと」「勉強したいこと」「夢」を持ち続けることが、楽しく豊かな人生を送る「コツ」だと気づきました。そしてその「コツ」のひとつとして、「道楽」（人生の道を楽しむこと・自分の心を楽にする）があると思いました。そんな思いを込め、通信名を「夢道楽」としました。



・お年寄りの皆さんがだんだんと笑顔になり、声を出して笑って、話が進んで和やかさが生まれます。そんなときに良かったと感じます。

《今後の活動についてどのように考えますか》

・一人でも待っている人がいるならば、続けていきたいです。
 ・これまでどおり無理をしないで楽しんで続けたいです。

・紙芝居の技術を高めたり、お年寄りのおしゃべりの相手をできるように、知識を学んだりしていきたいです。

・体力が続く限り行っていきたいです。

・メンバーを増やしたいです。

・近い将来、大型紙芝居用の舞台を購入したいです。

《通信「夢道楽」の名称はどのように決めたのですか》※写真左下

歳を重ねて幾つになっても「やりたいこと」「勉強したいこと」「夢」を持ち続けることが、楽しく豊かな人生を送るコツだと気づきました。そしてそのコツの一つとして、「道楽」（人生の道を楽しむこと・自分の心を楽にすること）があると思いました。そんな思いを込め、通信名を「夢道楽」としました。

《島田市政に望むことはありますか》

・高齢者の外出支援をしていただきたいです。
 ・免許証の返納に伴い、高齢者の移動が不便になっているので改善していただきたいです。

定例会 の 概要

一般会計5121万1000円を増額など

29議案を可決

令和元年11月定例会が、11月22日（金）から12月20日（金）まで、29日間の会期で開催されました。

11月22日（金）本議会初日 17議案上程

令和元年度各会計補正予算（一般会計1件・特別会計5件）のほか、条例改正案など8件、一般議案3件が上程されました。

12月2日（月）～4日（水）本会議（一般質問）

14人の議員が一問一答による一般質問を行い、当局の考えについて各議員が質問や提案をしました。（9～16ページ）

12月6日（金）本会議（議案質疑）

4人の議員が令和元年度一般会計補正予算案および条例改正案・一般議案などの詳細について質問をしました。

Pickup②へ（5ページ）

また、各議案の詳細な審査のために、予算・決算特別委員会、各常任委員会に付託しました。なお同日、予算・決算特別委員会全体会を開催し、3分科会に審査を委嘱しました。

12月9日（月）～10日（火）予算・決算特別委員会分科会、各常任委員会での議案審査

厚生教育・経済建設・総務生活の予算・決算特別委員会分科会および3常任委員会が開催され、議案審査を行いました。（6～8ページ）

12月12日（木）予算・決算特別委員会全体会の議案審査

3分科会の分科会長報告、討論、議案採決を行いました。

12月20日（金）本会議最終日 追加議案上程12件 計29議案可決

予算・決算特別委員会と3常任委員会での審査内容と結果について、各委員長が報告しました。

給与改定による人件費の増額に伴う令和元年度各会計補正予算（一般会計1件・特別会計5件）のほか、人事院勧告に伴う給与の改正を行う条例の一部改正5件および人権擁護委員の推薦の人事案件1件が追加上程されました。定例会初日に上程された17件と合わせて、29議案が全員賛成で可決されました。

Pick up 1 島田市こども館の指定管理者 選定内容は？

Q 選定委員会はどのようなメンバーからなるか。

A 副市長を委員長とし、部長3人、外部委員として学識経験者3人の計7人の委員で構成されている。

Q 指定管理者選定における評価項目のうち「児童福祉の向上を図るため、施設を最大限活用し、積極的に自主事業の開催ができるか」について、2つの応募団体の評価はどうだったか。

A この項目については、NPO法人クロスメディアしまだの方が高く評価されていた。東海ビル(株)からは、プレイルーム内での作品を写真に撮り展示する、子どもたちが館内放送で感謝の言葉を伝えるなどの新たな事業提案があった。

Q 市内や焼津市など、近隣地域に類似施設があるが、差別化するような提案はあったか。

A 差別化する提案はなかったが、NPO法人クロスメディアしまだからは遊びだけでなくSNSを活用した情報発信を行う提案があり、東海ビル管理(株)からは藤枝市や焼津市の施設へ連携を働きかけ、3施設共通のスタンプラリーカード等による相乗効果を目指すなどの提案があった。

Q 外部委員にはどのような役割を期待しているか。また女性はいるか。
A 経理面、労働環境面における専門的な観点で市民サービスの向上、経費の節減などを期待している。また現在、外部委員に女性はいない。

Pick up 2 コミュニティバス 一部経費削減とは？

Q コミュニティバス運行管理委託の、令和2年度限度額2億9996万円の算出根拠は。

A コミュニティバス運行管理委託は、14路線のコミュニティバスの運行委託と住民が混乗している4路線のスクールバス運行委託からなり、限度額はそれらの経費の合計額である。なお、委託料の上限を3億円と位置付けて設定した。14路線の運行委託に係る経費については、令和元年度における補正後の予算額2億8042万円と比較すると114万円の減額。限度額の算出は一部経費の節減に向けた内容を入れ計上した。

Q 具体的にどのような方策を取ろうとしているか。

A 利用人数の少ない年末年始6日間について運休することで調整を図っている。このことによる減額は、概ね210万円と試算している。
Q 現時点で運休による住民サービスの低下を補う施策は、この債務負担行為補正に盛り込まれているか。

A 14路線のうち、4路線については、すでに年末年始の運行はしていない。残る10路線について運休とする予定だが、人数は平成30年度の実績で、6日間で合計2426人、1日当たりで404人。この人たちにへの代替サービスの提供は、この限度額に含まれていない。厳しい財政の現状を含め、丁寧な説明と周知を行い、ご理解をお願いしていく。

常任委員会および 予算・決算特別委員会報告

厚生教育常任委員会・分科会

若年がん患者に向けての 支援体制づくりを

令和元年度 一般会計補正予算

●後期高齢者人間ドック検診
委託事業

Q 2000人が助成対象となっているが、平成31年3月に先着順で募集したところ、4月には申し込みが定員となった。対象者は2000人でよいのか。

A 以前は後期高齢者医療広域連合から満額助成されていたが、助成が減額されているため、これまでの実績から2000人とした。

●スクールバス運行管理事業

Q 令和3年度に島田第一中学校と北中学校の統合が検討されているが、スクールバスの運行スケジュールの考えは。



島田市のスクールバス

A 統合に伴い、バスを2台増やす予定である。また、湯日小学校については1台の運行を考えている。

Q 小学校区で考えると、どのような配置となるか。

A 北中学校については、伊久美小学校区、相賀小学校区、神座小学校区を中心に考えている。伊太小学校区については、自転車通学等も可能ではないかと考え、現在、調整中である。初倉地区については湯日小学校区を考えている。

●若年がん患者等支援事業

Q 3種類の事業内容があるが、補正で計上された73万5000円の内訳は。

A ①若年がんの妊孕性温存治療費助成は40万円を計上、②がん患者医療用補整具購入費助成は20万円を計上、③小児・若年がん患者在宅療養費助成は、1人当たり3カ月分として13万5000円を計上している。

Q 申請について、どのように広報するのか。

A 助成事業がある市町については、各病院、がんセンター等で紹介をしてもらうことになっている。申請については添付資料として診断書が必要となる。

●小・中学校再編事業

Q 再編に伴い購入する備品はどのようなものか。

A 統合に伴い、来年度から交流事業が始まることとなり、小学校では、湯日小学校の児童が使用する机と椅子のほか、ランドセル等の持ち物を収納する棚やロッカーを購入する。中学校については、北中学校の生徒が使用する机と椅子を購入するが、ロッカー、収納棚は島田第一中学校の既存の数量で足りるため、購入はしない。

しまだ音楽広場の指定管理者は まちづくり島田へ

令和元年度 一般会計補正予算 債務負担行為補正

●しまだ音楽広場管理運営委託
(令和2年度から令和6年度まで)

Q 指定管理者に中心市街地
活性化の取り組みとして
要望したことは何か。

A こども館やしまだ楽習セ
ンターなどの施設間の
連携を深め、協議会のよ
うな情報交換を行う場を
つくり、回遊性を高める
取り組みを求めた。

令和元年度公共下水道 事業特別会計補正予算

●下水道普及促進事業

Q 受益者負担金報奨金の増
額の理由は。

A 5年間の分割を予想して
いた受益者が、報奨金・
奨励金制度を利用して一
括払いにより事業協力を
してくれた。今後の18件分
を増額し普及促進を図る。



指定管理されるしまだ音楽広場とピ〜ファイブ

10月2日 川根温泉ホテルとの意見交換会

川根温泉ホテルは令和元年7月に指定管理者の変更があり、大井川鐵道(株)が管理者となった。変更後の運営状況を確認するため、10月2日に当委員会と観光課、大井川鐵道(株)で意見交換会を行った。
**手続きに関する
トラブルについて**

7月の運営開始直後に、しまだ健幸マイレージやクレジットカードが使えない等のトラブルが発生した件に関して委員から質問があり、前指定管理者が行っていた手続きについては、可能な限り対応を考えているとの回答があった。
従業員の雇用について

従業員の9割以上が島田市、川根本町在住であり、指定管理者の変更があっても川根温泉ホテルに残ってくれている従業員が多いとのことだった。
大井川鐵道(株)が指定管理者となったメリットについて

SLTオーマス列車等との連携したツアーや乗車券と宿泊のセット販売等が可能になり、ホテルだけでなく地域全体で観光客におもてなしができる

ようになったことが挙げられた。また、グループ会社のエクリプス日高(株)静内ホテルにおいて、食事が高評価であり、特に朝食はグレードの高いメニューを提供し、かつ地元食材を使ったメニューを川根温泉ホテルでも提供できているとのことであった。

当委員会としては、今後も川根温泉ホテルだけでなく、川根温泉ふれあいの泉との連携をはじめとした地域全体を盛り上げるような取り組みに期待する。



意見交換会の様子

公共交通としての コミュニティバス運行を

令和元年度 一般会計補正予算 債務負担行為補正

●コミュニティバス運行管理委託

Q 来年度以降、コミュニティバスが運行しない日がある。利用者への対応は考えているのか。

A 今のところ考えていない。

Q 年末年始の6日間を運休する根本的な考え方は。

A 運転手不足と人件費の高騰のためである。

Q 年末年始の利用人数は1日あたりの年間平均乗車人数の6割である。そういう分析をした上での判断か。

A 1便を走らせるに当たって、大型バスに約3人程度しか乗っていないという状況で判断した。

Q 債務負担を組む判断をした理由は何か。



A 年末年始の6日間を運休することで、運転手の人件費が削減され、予算的にも債務負担を組めると判断した。

Q 公共交通を担っている業務委託事業として、年末年始の運休を回避する可能性もあるか。

A 方法はさまざまあるが、考えていきたい。

Q 議論をし、公共交通の見直しを図る余地はあるか。

A 令和3年4月を目標に新しい交通網の計画をする中でご意見を大切に議論していきたい。

所管課からの報告事項

●「デジタル変革宣言」 有言実行で前進を!!

Q デジタル変革宣言は具体的なスケジュールや目標がない。取り組む時期はどうなっているか。

A 来年度予算に関係している事業は、現在予算編成をしている。全庁的に関連する業務の掘り起こしをしており、情報化基本計画として取りまとめいく。

Q こういう宣言は外に知らしめることであり、それだけのことが達成できるビジョンを持っていることが前提である。十分注意して事業を進めていたきたい。

A 具体的な明示ができるように、この宣言に基づいた取り組み、事業の洗い

Q 出しをしている。
ペーパーレスの推進はデジタルにすることである。デジタル変革は今までやってきたデジタル化をもう一歩先に進めることである。あわせもってやっていくという解釈でよいか。

A 企業はビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもとに、製品やサービス、ビジネスモデルを変革する。それと共に、業務そのものと組織、プロセス、企業風土、文化等を変革して、競争上において優位性を確立していく理念を市役所、自治体の業務においても取り組んでいきたい。

市長に質す！^{ただ}

一般質問

Q & A

市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に「一般質問」を行います。

島田市議会11月定例会では、14人の議員が一問一答方式（議員が一つの質問をし、市長等も一つずつ答弁する方式）を選択し、50分間の制限時間の中で質問を行いました。今号では、14人の議員の個人質問の内容の一部を紹介します。

一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。録画映像はパソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも見ることができます。

このQRコードからどうぞ！



リニア問題 住民パワーで解決を！



おおいしせつお 大石節雄 議員

Q リニア中央新幹線工事に伴う減水・自然環境問題に対して流域8市2町が同調して対応していることに感謝する。過去の「水返せ運動」では、住民が大きな運動を展開してきたが、今回このような行動はできないか。

A 工事着手前ということで、関係市町が8市2町と広域にわたっているところから、現時点で運動を行うことは難しいものと考えている。

Q JR東海と国を動かせるのは住民パワーである。8市2町の住民が大きなうねりを起こした場合、支援していただけるか。

A 住民主体の大きなうねりというものについては、県や8市2町が連携したオール静岡での対応になるうかと考えている。

介護予防対策は早めに

Q 介護保険制度の総合事業が始まって以降の成果はどうか。



西向集会所で週1回開かれる「ちゃのみ会」

Q 総合事業の成果は評価する。しかし、今後高齢者は増えていく。要介護、要支援になる前の対策が必要ではないか。

A 介護予防とともに健康づくり、疾病の予防を一体的に推進する施策が重要だ。要介護、要支援になる前の段階の支援を続ける。

市民意識調査の 自由意見の対応は



かわむらほる お
河村晴夫 議員

Q 第2次島田市総合計画前期基本計画の評価についての報告があった。市民意識調査の自由意見①②③について、どう考えるか。

A ①「豪雨の時の防災同報無線の放送が聞き取れない」とあったが、防災メール登録者数を世帯数くらいに普及させないのか。

A スマートフォンにQRコードを読み込んでも、その後の操作ができないと完了しない。少しずつでも登録者数が増えていくように努力をしていきたい。

Q ②「免許返納者への優遇措置の拡充」で、令和6年度の地域公共交通エリアカバー率80%は目標値として高過ぎないか。

A カバー率は、バス路線から半径300メートルのエリアで、自動車などを運転できない高齢者や19歳以下の人をカバーしたとする数値である。決められた路線に、デマンド型のポイントを増やしたり、自主運行の車が巡

回したりすることでエリアが広がると解釈していただきたい。

Q ③「水道を引きたくても500万円かかる。いまだに井戸水を使っている。負担がかからないようにできないか」の意見に対してどのように考えているのか。

A 公営企業である以上、採算面を考え、自己負担で水道を引いていただいている。

登録方法

- ① 空メールを送ってください
- ② 返信メールを受信します
- ③ URL(本登録サイト)にアクセスしてください
- ④ ユーザー情報登録
- ⑤ 設定内容の確認
- ⑥ 登録の完了



↑ QRコード

防災対策として島田市防災メール登録を

学校再編後の 地域づくりはいかに



さの よしはる
佐野義晴 議員

Q 令和6年度に伊久身・大長地区から公立の小・中学校がなくなることに伴い住民サービスの低下が考えられる。それを補うための学校に代わる核づくりをどう進めるか。

A 学校跡地は地域住民の活動の拠点として、住民に十分な理解が得られるよう計画を立てる。

Q 北部の小・中学校、また湯日小の統廃合の計画が進められている。それ以外の見直しはどうか。

A 初倉南小と初倉小の再編および初倉中との一体型小中一貫校について令和3年度までに見直しをつけるが、それ以外は直ちに適正規模化を図る計画はない。

安全は道路整備にあり

Q 新病院建設に伴う大津谷川左岸の高橋・千歳橋間の道路の拡幅計画のこれからを伺う。

A 完成時期等は検討段階のため、示すことはできない。



拡幅が計画される大津谷川左岸 高橋千歳橋線

Q 大津地区を縦断する県道伊久美元島田線に替わるバイパス整備について、毎年、地元や商工会議所から要望が出されているが可能性はどうか。また、当面の対策として、歩道がない箇所に歩道の整備はできないか。

A 測量、調査の予算確保について調整を行っているが、優先順位等により実施に至っていない。バイパス整備より歩道整備の方が、実現性が高い。

災害に向けていくつかの提案



やまもとたかお 議員
山本孝夫

Q 台風19号の襲来時、FM島田が活躍した。大災害時にプラザお

おるりから権現原の親局までのNTT回線が谷口橋で被災し機能不全となった場合を想定して、無線で権現原を結ぶ整備をしておくことができないか。

A 非常用電源が稼働すれば放送できるのですが、FM島田とも協議していきたい。

Q 大雨が降るたびに金谷志戸呂地区は浸水してきた。何年後かの金谷高校の設備変更の際に、グラウンドの一部を譲り受けて調整池を整備し、浸水を未然に防ぐのはどうか。

A 浸水対策の一つだと思う。事業規模や相手との交渉も踏まえて慎重に考える必要がある。

Q 金谷地区の2メートルを超える浸水想定地域は3つの川が合流する清水川の氾濫に起因すると考えられる。急流の沢川の途中から大井川鐵道沿いに水路を作り、大代川下流に逃がすよう整



3河川が合流し氾濫が心配な清水川の起点

備できないか。

A 参考にして対策を考えたい。

補助金制度の改善は？

Q 市産業関連補助金を多くの市民に利用してもらうために、執行は4月以降でも、市民への説明会は1月くらいに早めに行うことはできないか。

A 予算が成立しないと説明できない。民間と行政は違う。

学校跡地活用は地域の思いを大切に



ふじもとよしお 議員
藤本善男

Q 学校再編により廃校となる6校（北部4小、北中、湯日小）の、跡地活用の基本方針は。

A 学校施設跡地活用検討委員会が令和3年3月までに方針を打ち出す予定である。

Q 委員構成はどうなっているか。

A 副市長を委員長、部長級職員9人を委員とし、事務局は教育総務課が担当している。

Q 委員会のこれまでの検討状況は。

A 7月10日に第1回委員会を開催し、学校再編計画の進捗を情報共有した。12月23日の第2回委員会では、跡地活用の方向性を協議する予定である。

Q 地域との連携はどう進めるか。

A 学校区ごとのワーキンググループでの意見集約を想定している。

Q 鹿児島県曾於市では、閉校となった中学校を改修し、農業人材育成の職業訓練施設を民間が運営している。市は跡地活用の運営主体をどう考えているか。

A 運営主体の優先順位は特にな

が、委員会や地域との話し合いの中で最適な運営主体が定まってくると考えている。

Q 住民意見は多種多様だが、ワーキンググループにはどのようなことを期待しているか。

A ワーキンググループは参加者が単に意見を出し合うのではなく、議論する中で一つの意見にまよっていき場。議論して望ましい姿を導き出すことに期待する。



農業人材育成を行う「たからべ森の学校」

防災情報は分かりやすく



しみずただし 議員

Q 現在の洪水ハザードマップの表示方法と今後の改善点は。

A 洪水と土砂災害とを色付けした地図で併記して作成している。今後、他の自治体で作成している文字やイラストを入れた、分かりやすく避難に役立つものを作成していきたい。

Q デジタル変革宣言をしたが、市民の安心・安全を守るための災害対応も含めるべきではないか。

A 災害対応にも分かりやすくデジタル化（情報提供）することを含めて検討していきたい。

Q 避難所でのペットの対応をどのように考えるか。

A 原則、短期間の場合は自宅2階への避難を呼びかけているが、今後は避難所を運営する自治会ごと専用ケース置場の設置など、対応の検討を促す方向である。

関係人口で島田ファンを

Q 大井川マラソン参加者へ島田市



分かりやすい函南町の洪水避難マップ

の関係人口となってもらう策は。

A ふるさと寄附金のパンフレットをゼッケン送付時に同封したい。

Q 大学との連携事業の状況は。

A 東京農業大学と伊久身地区との連携および静岡大学教育学部と教育諸問題解決の連携の実施例がある。

Q 今後の島田市発信の考えは。

A 島田市に縁のある人たちと「島田人会」を設立したい。

向谷二丁目の

火災の原因は何か？



さいとうかずと 議員

Q 出火原因、焼失面積、損害額、延焼した理由は何か。

A 現在、消防と警察で調査中のためお答えできない。

Q 消火体制はどのようであったか。

A 10月5日午前8時29分に通報を受け、直ちに消防車9台が出動。約3分後に増強のため消防車4台、救急車2台、消防ヘリ1機が出動。消防団からは、消防車15台、108人の団員が出動。午後0時33分に鎮火。

Q 保育所、幼稚園の火災対策はできているか。

A 各所、園で消防計画を作成し、計画に沿って避難訓練などを実施している。

Q 事業所の立ち入り検査はどのように行われているか。

A 建物の用途に応じて、管轄消防署が計画的に行っている。

Q 被災者の再建に寄与できるものは何かあるか。

A 火災を原因とした再建支援のための補助金や融資制度はない。

新病院建設の地元調達は

Q 地元調達による地域経済への波及効果はどのようか。

A 下請工事等に市内企業が関わることで、一定の経済波及効果が見込める。

Q 新庁舎建設においてはどうか。

A 市内の経済にプラスの循環が起ころうことを念頭に、入札方式等について検討していく。



建設中の新病院

風力発電計画に 環境配慮の意見を！



さかいようこ 議員

Q (株)シーテックが、島田市、掛川市、森町にまたがる地域で、国内最大級となる風力発電所の建設計画を発表した。それに関わり、同社が示した計画段階環境配慮書に対して、市長が県に提出した意見書の概要はどうか。

A 環境への影響を可能な限り回避、低減し、地域住民の懸念を払拭することを求め、具体的な環境保全や動植物、生態系、景観等に関する個別事項についても意見書で言及した。

Q 静岡猛禽研究会から、渡り鳥や鳥獣保護区の鳥、動植物の生態系を守るために建設の計画中止を求める意見書が出された。また、パラグライダー関係者からも、飛行ルートへの影響を危惧した意見がある。このような市民の意見をどう受け止めたか。

A 風力発電設備が鳥類の生息および飛行等に及ぼす影響等については、有識者や専門家に意見を求める。また、最新の調査結果



事業計画では約25基の風力発電所の設置が！

と知見に基づいた評価を行い、その結果を踏まえた保全措置を求めていく。パラグライダー関係者とは、情報交換を密に行い、その意見を正確に伝えていく。

Q 地元説明会で出された意見は。

A 風車からの騒音や健康被害、お茶栽培、水源等などへの影響についての意見があった。今後の計画に適切に反映していただきたいと考えている。

台風15・19号から 得たものを生かす



おおむらやすじ 議員

Q 今回の台風に関して、市としての対応をどう評価するか。

A 台風19号では、住民避難やハード面の改良などの課題も残るが、自治会、自主防災会による公会堂での避難所開設など、住民の防災意識が向上したと思われ、おおむね円滑な対応ができたという評価している。

Q 地区防災マップの作成に力を入れているが、市としてどのような支援をしているか。

A 金銭面では補助金での支援を、人的支援としては危機管理課の職員を派遣し危険箇所調査等の協力をしている。

Q 市の管理する河川への水位計の設置計画はどのような状態か。

A 現段階で予算化された計画はないが、最近の水位測量計は非常に安価になってきている。県の動向を伺いつつ、今後は市の管理している河川のうち、溢れた河川、溢水しそうな河川等へ優先的に設置していくよう

検討していく。

外国人労働者との共存

Q 外国人ならではの問題の解決も視野に入れ、積極的に支援する必要があると考えるが、市の考えはどうか。

A 生活習慣や文化の違いは、双方で理解し、尊重する必要がある、地域コミュニティとのつながりを支援していく。



県で設置された水位測量計！

水害対策へ万全な取り組みを！



おおぞきよこ 大関衣世 議員

Q 台風19号の被害状況を伺う。

A 人的被害はなく、床上浸水8件、床下浸水が14件あった。道路の被害は倒木、崩土、冠水があり、河川は越水、溢水があった。

Q 避難状況はどうであったか。

A 1次避難所への避難者数はピーク時で967人だった。それ以外に公会堂等の避難者は52力所で175人であった。公会堂等は今後も活用していきたい。

Q 避難所の収容人数はどうか。

A 大規模地震発生時は、第2次、3次の避難所を順次開放する。学校等は体育館以外の教室の使用も視野に入れ、協議している。

Q 現在進行中の浸水対策を伺う。

A 市が管理している河川では、初倉の犬ヶ沢川の改修や市民病院周辺の対策工事を実施している。初倉地区では今回で3回目の浸水となった地域があった。これまでの治水対策を伺う。

A 日頃のしゅんせつ工事と、必要に応じて水路のバイパス工事を



市内河川のしゅんせつ作業

行っている。

Q 今後の浸水対策の計画を伺う。

A 予算要求を行い、浸水被害状況を調査し、投資効果の高い対策を検討していく。

Q 水位を監視するカメラ等を設置してはどうか。

A 効果的な設置場所等を検討していく。

生活困窮者の

自立支援に向けて



よこやまかおり 横山香理 議員

Q 生活困窮者自立相談支援事業の概要と現在の相談件数はどうか。

A 生活困窮者自立支援法に基づき、生活に困窮している人に対し、生活保護受給に至る前の段階で自立に向けた支援を行うもの。生活困窮者および生活困窮者に関わりのある人からの相談に応じ、個人の状況にあった自立支援計画を作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行っている。新規および継続相談の合計件数は10月末現在で104件である。

Q 就労が困難な人への対応はどのように考えているか。

A 生活困窮者の就労準備支援事業を令和2年度中に開始していきたいと考えている。

Q 計画中の就労準備支援事業の内容は。

A 従来の就労支援とは違い、社会との関わりに不安のある人、就労に向けた準備が整っていない人などを対象とし、1年間を基

本とした支援プログラムにより支援を行う。生活面や社会面の自立支援、就労体験なども行う。

Q 事業対象者の把握はどのようにしていくか。

A 市や市教育委員会の相談窓口において、また静岡若者サポートセンターなどと連携して、把握に努めたいと考えている。



しまだ夏休み子ども食糧支援事業のチラシ

どうなる？ 初倉中学校区の学校再編



いとう たかし 議員
伊藤 孝

Q 湯日小学校と初倉小学校の統合が、当初予定されていた令和4年4月から1年早くなったのはなぜか。

A 湯日小学校の複式学級が連続する状況を解消するために、保護者の希望が多かった早期の統合を目指すことにした。

Q 湯日小学校の保護者の希望で1年早くなったのか。

A そのとおりである。地域や保護者へのアンケートでは、令和4年度では遅過ぎるという回答が一番多かった。

Q 初倉南小学校の統合が延期となった経緯は何か。

A 市長と教育委員との意見交換会の中で、島田市の教育として目指す小中一貫教育のモデル校とすることや、統合時に必要な施設の改修と長寿命化対策を勘案して検討を継続していくことにした。

Q 初倉南小学校の統合は、施設改修等を勘案すると最短でも令和

10年ということか。

A 令和10年ということはまだ決定していない。小中一貫教育については、今後メリット・デメリットを検討し、併せて初倉小学校と初倉南小学校の長寿命化計画を考慮した上で、時期を決定していくため、今の段階では何年統合ということを答えることはできない。



統合が予定されている湯日小学校

JR東海の回答に 誠意が見えないが



そね よしあき 議員
曾根嘉明

Q JR東海は、県外に湧水が流出しても大井川の水は減らないと回答しているが、十分な説明があったか。

A 納得のいく説明があったとは認識していない。

Q 2027年開業ありきの発言をしているが、見解は。

A 当局としては静岡県の水環境問題を優先すべきであり2027年ありきでないと言っている。

Q JR東海の誠意のない態度をどのように評価するか。

A 説明が十分だとは思っていない。大きな不安と不審を抱いている。

公共交通網の構築はいつ！

Q 公共交通の運行経費の限度額はいくらと見るか。

A ここ数年コミュニティバスの運行経費は上昇し約3億円となり、既に限界がきている。

Q 平成30年度の運行経費と利用者数、運賃収入は。



現在、運行中のコミュニティバス

A 経費は2億6692万5000円。利用者総数は25万757人、運賃収入は4064万円となっている。

Q 運行経費も限度額に来ており、公共交通の在り方、交通網の構築の実行は何年をめどと考えているか。

A 早期に交通網を構築する必要があり、令和3年度には形を整えたい。

旧金谷庁舎の整備計画 進捗状況は？



すぎの なおき
杉野直樹 議員

Q 旧金谷庁舎の解体を含めた整備計画の進捗状況はどうか。

A 民間の発想と資金を活用したPFI手法により、施設整備と管理運用を行っていくことを決定し、今年度、特定事業の選定を行う。現在、新たに整備する施設の機能や運営事業の内容を検討しており、当初の予定どおり進捗している。来年度には事業者の公募選定を行い、これと並行して旧庁舎の解体に向けた準備を進める予定である。

Q 解体時期が当初の計画から遅れているのはなぜか。

A 合併特例事業債の活用期間が令和2年度末から令和7年度末まで延長されたことで、新庁舎の建設スケジュールとの兼ね合いで建物の使用期間を1年延長したためである。

Q 民間事業者からはどのような意向が示されているか。

A PFI実績のある事業者から、新たに整備をする施設と既存施設



解体が延期された旧金谷庁舎

設である「みんくる」や「金谷体育センター」を一体的に運営することでまちづくりに貢献する提案が可能という意見が寄せられている。

Q 市はどのような事業を展開することが適当と考えているのか。

A 新たな整備事業に合わせ、支所、地域包括支援センター、住民検診といった行政機能を持たせることを予定している。

所管事務調査報告

調査報告

厚生教育常任委員会所管事務調査報告

いじめ・虐待から子どもの命を守ろう

● 11月6日 千葉県柏市

児童虐待およびいじめ防止条例

本条例は平成25年に柏市議会教育民生常任委員会の提案により制定された。公民連携によって暴力の連鎖を抑制し、市と教育委員会が綿密に連携することで、対策を推進している。また、いじめの認知件数は年々増えており、いじめを苦に自ら尊い命を絶つことのないよう、未然防止、早期発見、早期対応の取り組みとして、「いじめ防止対策アプリ」の導入も行っている。

して子どもを育てていくことができる。これを行えるのが各自治体である。

児童虐待防止については児童相談所と市の相談担当者との情報共有に隔たりがない取り組みが必要である。いじめ防止には、安心して悩みを相談できる環境づくりが大切になると感じる。

● 11月7日 明治学院大学

「児童虐待の予防から再発防止に向けて」と題して、松原康雄学長からお話を伺った。児童虐待はゆとりのない生活によりストレスがたまり、子どもという弱者に対して虐待を向けてしまいがちなことが発生要因の一つでもある。対策としては近隣や家族の支援が大切であり、支援ができれば、安心



いじめ防止対策アプリのメッセージ画面

今後の汚水処理方針を考える

● 1月20日 福岡県田川市

合併浄化槽整備に公費補助

田川市は汚水処理方法として、下水道を整備するのではなく、市の財政負担を少なく、柔軟に事業規模の調整ができる合併浄化槽の整備を進めている。合併浄化槽への転換整備促進に切り替えた理由として、行政サービスの均一化、各戸の水洗化や点在する市営団地の状況、地域経済への波及効果が期待できること等が挙げられていた。整備には、従来の補助に基金を財源とした市単独の補助を上乗せしている。設置した市民には維持管理を義務付け、公的管理型浄化槽整備事業を実施していた。

● 1月21日 福岡県大川市

下水道整備のみから方針転換

大川市は家庭や工場などからの排水による環境悪化により、合併浄化槽整備事業（設置費用補助）を開始したが、環境の悪化は止ま



汚水を浄化する大川市水処理センターの視察

らず、公共下水道事業を計画・実施した。しかし、接続率の低迷や地理的に整備不可能な地区があり、公共下水道整備区域と合併浄化槽整備を促進する区域を区分して、全市的な環境整備を進めていた。

両市の整備状況を視察し、島田市においては現在の下水道整備計画区域の将来の人口推移や計画区域内の合併浄化槽整備率を考慮し、現在の将来概成にとらわれない汚水処理政策を取る必要性を感じた。

めざそう 既存交通デマンド化

● 11月6日 (東京都港区)

MONET Technologies 株式会社

柔軟な配車サービス

MONET Technologies 株式会社は、全国17自治体と連携し、インターネットを使って柔軟に利用できる配車サービスへの取り組みを進めている。今回の視察では、現在取り組んでいる事業や今後の事業構想等を伺った。これから同社が島田市で取り組みたい内容として、基幹バス路線とデマンド運行の共存をテーマに、実証実験を行い、デマンドエリアを拡大していきたいとのことだった。

● 11月7日 茨城県神栖市

デマンドタクシーの導入

神栖市では、交通空白地の解消と日常生活の移動手段となることを目的とし、ドアツードア型のデマンドタクシーを導入した。現在、民間タクシーなどのすみ分けを図るため、エリアを分けて運行し



自動運転等について研修

ており、利用者は自宅のエリア内での移動が可能で、乗継サービスなどもあるとのことであった。

今後、当市でも自動運転など次世代の技術開発やサービスの提供を見据え、既存交通のデマンド化を目指していくべきと感じた。

調査報告

議会だより編集に関する特別委員会

中核市ならではの議会広報

●10月17日 千葉県柏市

リニューアルで

編集会社に業務委託

柏市は千葉県北西部に位置し、首都圏のベッドタウンとして発展し、現在の人口は約43万人の中核都市となっている。議員定数は36人で、議会広報編集委員会は平成12年に各会派から選出された10人で発足した。委員会は年8回開催（1定例会につき2回）、議会だよりは年4回発行されている。1回の発行部数は14万2000部で、サイズはタブロイド版の8ページで作られている。

配布方法は広報紙とともに新聞折込で、約7割の世帯に配布されている。

平成28年度にリニューアルに取り組み、写真やイラストを多用し「読み見せる議会だより」を目指した。大きな変更点としては、タイトルを「かしわ市議会だより」から「Gikai-plus」とし、左開き・横組みとした。また、2



明るく目を引く表紙の柏市議会だより

面から7面が2色刷りとなったことで紙面の華やかさが増し、市民からの意見として、「色合いが明るく見やすい」などの好意的な意見が聞かれるようになった。さらに、従来、事務局が担当していたデザインやレイアウトを実績のある編集会社に業務委託をしたことである。

一部当たりの単価を比較した場合、しまだ議会だよりとさほど差はない。議会広報はそれぞれの議会と地域の実情に合わせた方針があり、中核市ならではの効率的な制作方法を学んだ視察であった。

今年度は各高校から3人、平成28年から参加している高等専修学校の2人を加えた17人を対象に行われる。各高校が持ち回りで議長校を選定し、議長と副議長を選出している。スケジュールとしては、12月中旬に議場でのリハーサルを行い、12月14日に高校生議会本番を迎える。



富士宮市高校生議会の行政視察

調査報告

若者のまちづくり参画等に関する特別委員会

富士宮市高校生議会先進事例視察

●11月4日 富士宮市

若者の意見を市政に取り組む

富士宮市は平成19年年度から「高校生議会」を開催し、今年で13回目を数える。この取り組みは義務教育を終えた高校生との接点を持つための手段として、市内5つの高等学校の協力により開催された。

した高校生の中には将来公務員になりたいと思う人や実際に市役所の職員になった人もいるとのことだった。

当局主導で、市政に対して関心を高める取り組みとしては素晴らしいことである。当委員会としては、議会が中心になっての取り組みの方策を考えたい。

高校生にとって高校生議会を開催する効果としては、現在市が何を行っているのか、また議会の仕組みを知ることができる。市としては、若者の意見を今後の市政運営に反映させることができることであった。さらに過去に参加

さくらめしの普及と 企業版ふるさと納税の活用を

1月17日に第2回議会報告会を兼ねて、島田商工会議所との意見交換会を開催しました。会では、まず令和2年度市行政に関する13件の要望について説明を受けました。島田市政全般に渡り、幅広い分野の要望が次のおり出されています。

●要望書の内容

- (1) 市内業者に対する業務発注率の維持向上
- (2) 市内中小企業・小規模企業への波及効果が高い企業誘致
- (3) 周辺地域の活性化を踏まえた東海道新幹線「富士山静岡空港駅」（新駅）の設置
- (4) 準工業地域における大型集客施設に係る建築規制の強化
- (5) 島田市地域産業振興事業費補助金に係る予算の確保
- (6) 地域医療の在り方
- (7) 市道大井川右岸1・2号線の拡幅
- (8) 市道谷口道線の拡幅と歩道の整備等（待避所の設置）
- (9) 県道河原大井川港線の拡幅
- (10) 県道伊久美元島田線のバイパス道路の早期整備
- (11) 事業所向けの地震対策補助制度の拡充
- (12) 中古住宅購入奨励金の予算増額及び要件緩和
- (13) 島田市における観光施策の展開（観光資源を結ぶ回遊性の向上と誘客）

企業版ふるさと納税制度の活用を！

企業版ふるさと納税制度とは、企業がふるさと納税を行う制度のことで、企業は地方創生に携わる事業へ寄附を行うことで支援ができ、また節税対策の一環となるなどのメリットがあります。商工会議所からは、島田市でも、市の事業に企業版ふるさと納税を取り入れられないかとの意見がありました。例えば、映画製作による市のプロモーション事業として、口ケ地を誘致する際に企業版ふるさと納税を活用する方策があります。また、観光庁と連携し、口ケ地マップ等を作成することで、集客にもつながるので、ぜひとも研究してほしいとの意見をいただきました。

さらに全国から島田市にふるさと寄附金が寄せられるような体制づくりを模索していたら、地元の物品の消費につながることで、積極的に個人版・企業版ふるさと納税制度を拡大してほしいとの意見をいただきました。

さくらめし 全国への普及を目指して

意見交換会では、島田商工会議所から、さくらめしを全国へ普及するため『島田さくらめし・焙炉^{ほいろ}上げ宣言』が紹介されました。島田さくらめしを扱う市内の飲食店の紹介や、昨年の帯祭り^{おびまつり}で「島田さくらめし帯まつり弁当」の

開発・普及に尽力した事例、川越遺跡食市場所や市内飲食店での販売出店・拡充計画、島田市商工会との協力、金谷地区・川根地区との連携を強化する計画などがありました。

また全国展開のための方策として、日本商工会議所が全国の事例を集めた情報交換会・展示会を東京で開催する際に、来場する旅行会社にさくらめしをPRし、島田周辺に立ち寄るときには実際に食べていただけようように伝えていく予定とのことでした。また富士山静岡空港と関わりがあるため、販売に向けて努力するとの意見もありました。

現在、市内ではさくらめしを販売している店舗が多くはありませんが、市民が食べなければ地域グルメにはならないので、ぜひ食べていただき、さくらめしの宣伝をお願いしたいとのことでした。



意見交換会の様子

11/8 (金)

島田市の生活排水処理の現状と今後は？

全議員研修会 講師：^{くにやすかつひこ}国安克彦氏（公益財団法人日本環境整備教育センター理事兼工学博士）

当市の公共下水道は、昭和63年に下水道事業の認可を受け事業に着手し、平成7年4月から供用が開始されました。現在の島田市においては合併処理浄化槽の普及が進んでいますが、下水道事業は膨大な時間と費用がかかるのが現状です。

今後、人口減少や高齢化が加速していく中、下水道事業の経営や市の財政にどのような影響を及ぼす可能性があるか、島田市はどのような選択をしていくのがよいかなどについて「島田市における生活排水処理の現状と今後」をテーマとし、公益財団法人日本環境整備教育センターの国安克彦先生を講師に迎え、議員研修会を開催しました。

経済建設常任委員会を中心に、当市の今後の課題として調査・研究を進めます。



編集後記

令和元年最後の定例会が開催されました。昨年は全国的にも台風等の自然災害を被った年となり、市内でも洪水被害が発生しました。初倉地区においては浸水被害が発生しました。一般質問では5人の議員が治水や避難所の対策等について質問しました。被災された皆さまに、改めてお見舞いを申し上げます。しかし、一方で市民の皆さまの防災意識が高まった年ではなかったかと思えます。身近で起きた災害を教訓にして、今後も起こることが予想される災害に備える心構えを強めていきたいと思えます。昨年は、議会だよりをご高覧くださりありがとうございました。今年も皆さまに読んでいただける議会だよりの作成に尽力してまいります。



議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 大関 衣世
- 【副委員長】 横山 香理
- 【委員】 大村 泰史、河村 晴夫、齊藤 和人、桜井 洋子

2月市議会定例会傍聴のお知らせ

議会を覗きに行こう！ 議会をオンラインで見よう！

傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場（市役所3階）へお越しください。 ※㊟＝予算・決算特別委員会

日	月	火	水	木	金	土
2/9	10	11	12	13	14	15
		建国記念の日			本会議(初日) ㊟全体会	
16	17	18	19	20	21	22
	㊟分科会 常任委員会 (午前・厚生教育 午後・経済建設)	㊟分科会 常任委員会 (午前・総務生活 午後・予備)	㊟全体会			
23	24	25	26	27	28	29
	振替休日	議会運営委員会	本会議 (当初予算)			
3/1	2	3	4	5	6	7
				本会議 (一般質問・代表・個人)	本会議 (一般質問・個人)	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (一般質問・個人)		本会議(議案質疑) ㊟全体会	㊟分科会 常任委員会 (厚生教育)	㊟分科会 常任委員会 (経済建設)	
15	16	17	18	19	20	21
	㊟分科会 常任委員会 (総務生活)	㊟分科会 常任委員会 (予備)	㊟全体会		春分の日	
22	23	24	25	26	27	28
			議会運営委員会	本会議 (最終日)		

☆開会時間は…

本会議 9:30 ㊟分科会 (2/17・2/18) 9:00・13:30

㊟全体会(2/19)および ㊟分科会(3/12~17) 9:30 ㊟全体会(3/18) 13:30

あなたのパソコン・スマホ等で、オンラインでも傍聴できます。

水色のラインで示された日には、インターネットでの生中継を行います。